

注3

**大学番号：144**

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

**届出**

新潟経営大学 観光経営学部 観光経営学科

注2

**【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書**学校法人加茂暁星学園  
平成31年5月1日現在

## 作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ジムチョウ 事務長・坂井 サカイ 真也 マサヤ

電話番号 0256-53-3000

(夜間) 0256-53-3000

F A X 0256-53-4544

e-mail soumu@duck.niigataum.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

観光経営学部

＜観光経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人加茂暁星学園

## (2) 大学名

新潟経営大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒959-1321  
新潟県加茂市希望ヶ丘2909番地2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フジタ トシアキ) 藤田 敏明 (平成24年4月)	(サトウ クニヨシ) 佐藤 邦義 (平成30年6月)	辞職申出による(元)
学長	(ワタナベ タモツ) 渡辺 保 (平成26年4月)	(ホリ ミネオ) 堀 峰生 (平成30年4月)	任期満了(30)
学部長	(ツェリッシュェフ イワン) ツェリッシュェフ イワン (平成28年4月)	(ヤブシタ ヤスヒロ) 藪下 保弘 (平成30年4月)	任期満了(30)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
観光経営学部 観光経営学科 学士（観光経営学）	経済学関係	4年	60人	— 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( )	( )	60人	60人	60人	60人	60人	60人	( )	( )	( )	( )	0.31倍	0.31倍	平成30年度2年次編入、3年次編入実施(30)
志願者数	( )	( )	29	—	28	—	47	—	41	( )	( )	( )			
受験者数	( )	( )	28	—	27	—	45	—	41	( )	( )	( )			
合格者数	( )	( )	25	—	24	—	35	—	32	( )	( )	( )			
B 入学者数	( )	( )	19	—	13	—	22	—	22	( )	( )	( )			
入学定員超過率 B/A			0.31		0.21		0.36		0.36						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	19 [ 0 ] ( 0 )	— [ — ] (—)	17 [ 4 ] ( 0 )	— [ — ] (—)	22 [ 2 ] ( 0 )	— [ — ] (—)	22 [ 0 ] ( 0 )	— [ — ] (—)	1年次 経営情報学部から転学部4名 (29)		
2年次	/		— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	21 [ 2 ] ( 0 )	— [ — ] (—)	19 [ 6 ] ( 0 )	— [ — ] (—)	24 [ 4 ] ( 0 )	— [ — ] (—)	2年次 経営情報学部から転学部2名 (29)		
3年次			/		/		— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	25 [ 2 ] ( 0 )	— [ — ] (—)	19 [ 6 ] ( 0 )	— [ — ] (—)	2年次編入3名 (30) 3年次編入5名 (30)
4年次							/		/		/		[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ 0 ] ( )	[ 6 ] ( )	[ 10 ] ( )							[ 12 ] ( 0 )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	19 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	38 人	2 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	2 人	2 人	・[専門学校進学(1)] ・[就職(1)]
平成30年度	66 人	3 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	1 人	0 人	・就学意欲の低下(1)
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	2 人	1 人	・就学意欲の低下(1) ・[就職(1)]
令和元年度	88 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		5 人		5 人	3 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{—}}{\text{—}} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{38} = \boxed{5.26} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{66} = \boxed{4.54} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{88} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<観光経営学部 観光経営学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎必修科目	経営学の基礎	1前	2			1							
	簿記会計Ⅰ	1前	2			1							
	簿記会計Ⅱ	1後	2			1							
	ビジネスマナーとホスピタリティ	1前	2									1	
	観光経営Ⅰ	1後	2					1					
	新潟県の観光	1前	2					1					
	観光英語Ⅰ	1前	1					1				1	
	観光英語Ⅱ	1後	1					1				1	
	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	1前	1			1		1					
	コンピュータリテラシー基礎Ⅱ	1後	1			1		1					
	基礎ゼミナールⅠ	1通	2			9	2	3					
	英語Ⅰ	1前	1					1				1	
	英語Ⅱ	1後	1					1				1	
	英会話Ⅰ	1前	1				1					2	
英会話Ⅱ	1後	1				1					2		
リーディングⅠ	1前	1				1					1		
ライティングⅠ	1後	1				1					1		
合計(専門基礎必修科目)	—	—	24	0	0	14	6	11	0	0	11		
専門基本科目	観光経営Ⅱ	2前	2			1							
	マーケティングの基礎	2前	2									1	
	財務諸表の見方・作り方	2前	2			1							
	キャリアデザインⅠ	2後	2			3		2					
	観光英語Ⅲ	2前	1									2	
	観光英語Ⅳ	2後	1									2	
	観光政策論	2後	2					1					
	レジャー産業論	2後	2					1					
	基礎ゼミナールⅡ	2通	2			9	2	3					
	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2前	1				1	1					
	コンピュータリテラシー応用Ⅱ	2後	1				1	1					
	オールラウンドリッシュⅠ	2前	1									2	
	オールラウンドリッシュⅡ	2後	1									2	
	英会話Ⅲ	2前	1				1					2	
英会話Ⅳ	2後	1				1					2		
リーディングⅡ	2前	1					1				1		
ライティングⅡ	2後	1					1				1		
合計(専門基本科目)	—	—	24	0	0	14	6	11	0	0	15		
専門応用科目	キャリアデザインⅡ	3後	2			4	1						
	観光英語Ⅴ	3前	1			1						1	
	観光英語Ⅵ	3後	1			1						1	
	観光経営Ⅲ	3前	2			1							
	オールラウンドリッシュⅢ	3前	1									2	
	オールラウンドリッシュⅣ	3後	1									2	
	英会話Ⅴ	3前	1				1					2	
	英会話Ⅵ	3後	1				1					2	
	英語特論Ⅰ	4前		2		1							
	英語特論Ⅱ	4後		2		1							
	中国語特論	4前		2								1	
韓国語特論	4前		2								1		
ロシア語特論	4前		2								1		
合計(専門応用科目)	—	—	10	10	0	9	3	0	0	0	13		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎必修科目	経営学の基礎	1前	2			1							
	簿記会計Ⅰ	1前	2			1							
	簿記会計Ⅱ	1後	2			1							
	ビジネスマナーとホスピタリティ	1前	2										1
	観光経営Ⅰ	1後	2					1					
	新潟県の観光	1前	2					1					
	観光英語Ⅰ	1前	1					1				1	
	観光英語Ⅱ	1後	1					1				1	
	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	1前	1			1		1					
	コンピュータリテラシー基礎Ⅱ	1後	1			1		1					
	基礎ゼミナールⅠ	1通	2					3	0	2			
	英語Ⅰ	1前	1					1				1	
	英語Ⅱ	1後	1					1				1	
	英会話Ⅰ	1前	1				1					1	
英会話Ⅱ	1後	1				1					1		
リーディングⅠ	1前	1					2				1		
ライティングⅠ	1後	1					1				1		
合計(専門基礎必修科目)	—	—	24	0	0	8	5	10	0	0	9		
専門基本科目	観光経営Ⅱ	2前	2			1							
	マーケティングの基礎	2前	2										1
	財務諸表の見方・作り方	2前	2			1							
	キャリアデザインⅠ	2後	2			3		2				2	
	観光英語Ⅲ	2前	1									2	
	観光英語Ⅳ	2後	1									2	
	観光政策論	2後	2					1					
	レジャー産業論	2後	2					1					
	基礎ゼミナールⅡ	2通	2			9	2	3					
	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2前	1				1	1					
	コンピュータリテラシー応用Ⅱ	2後	1				1	1					
	オールラウンドリッシュⅠ	2前	1									2	
	オールラウンドリッシュⅡ	2後	1									2	
	英会話Ⅲ	2前	1				1					1	
英会話Ⅳ	2後	1				1					1		
リーディングⅡ	2前	1					1				0		
ライティングⅡ	2後	1					1				1		
合計(専門基本科目)	—	—	24	0	0	6	4	9	0	0	14		
専門応用科目	キャリアデザインⅡ	3後	2					0	0				2
	観光英語Ⅴ	3前	1			1						1	
	観光英語Ⅵ	3後	1			1						1	
	観光経営Ⅲ	3前	2			1			1				
	オールラウンドリッシュⅢ	3前	1					1				1	
	オールラウンドリッシュⅣ	3後	1					1				1	
	英会話Ⅴ	3前	1				1					1	
	英会話Ⅵ	3後	1				1					1	
	英語特論Ⅰ	4前		2		1							
	英語特論Ⅱ	4後		2		1							
	中国語特論	4前		2								1	
韓国語特論	4前		2								1		
ロシア語特論	4前		2								1		
合計(専門応用科目)	—	—	10	10	0	7	2	1	0	0	11		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門選択科目	財務会計Ⅰ	2前	2								1	
	財務会計Ⅱ	2後	2								1	
	ビジネス法Ⅰ	2前	2								1	
	ビジネス法Ⅱ	2後	2								1	
	海外英語実習	2通	2				1				1	
	販売と経営Ⅰ	2前	2								1	
	販売と経営Ⅱ	2後	2								1	
	原価計算論Ⅰ	2前	2								1	
	原価計算論Ⅱ	2後	2								1	
	経営トップセミナー	2後	2		3							
	マーケティングⅠ	3前	2								1	
	マーケティングⅡ	3後	2								1	
	経営戦略論Ⅰ	3前	2								1	
	経営戦略論Ⅱ	3後	2								1	
	財務管理論Ⅰ	3前	2								1	
	財務管理論Ⅱ	3後	2								1	
	国際経済論	3前	2			1						
	日本経済論	3後	2								1	
	経営分析論Ⅰ	3前	2								1	
	経営分析論Ⅱ	3後	2								1	
アジアビジネス論Ⅰ	3前	2			1							
アジアビジネス論Ⅱ	3後	2			1							
販売と経営Ⅲ	3前	2								1		
販売と経営Ⅳ	3後	2								1		
インターンシップ	3前・後	2		3		1						
合計(専門選択科目)	—	0	50	0	9	0	2	0	0	0	20	
コース専門基本科目	地域とビジネスⅠ	2前	2			1						
	地域とビジネスⅡ	2後	2			1						
	まちづくり論	2前	2			1						
	まちづくり実習Ⅰ	2前	2			1						
	レジャー&アウトドア実習Ⅰ	2前・後	2								3	
	小計(レジャー・まちづくりコース科目)	—	0	10	0	4	0	0	0	0	0	3
	農業と観光	2前	2			1						
	フードビジネス論	2後	2				1					
	アグリ・フード実習Ⅰ	2前	2			1	1					
	農業ビジネス論Ⅰ	2前	2			1						
	農業ビジネス論Ⅱ	2前・後	2			1						
	小計(アグリ・フードビジネスコース科目)	—	0	10	0	4	2	0	0	0	0	0
	異文化コミュニケーション	2後	2									1
	通訳ガイド入門	2前	2					1				
	通訳ガイド演習Ⅰ	2後	2					1				
	旅行ビジネス論	2前	2			1						
	旅行業法	2前	2			1						
観光産業実習Ⅰ	2前	2			1							
旅行実務演習	2前	2			1							
小計(英語・ツーリズムコース科目)	—	0	14	0	4	0	2	0	0	0	1	
宿泊産業論	2前	2			1							
ホテル経営論	2後	2			1							
旅行ビジネス論	2前	2			1							
セレモニー産業論	2前	2			1							
宿泊関連産業実習Ⅰ	2前	2			1							
小計(ホテル・ホスピタリティコース科目)	—	0	10	0	5	0	0	0	0	0	0	
合計(専門選択科目)	—	0	44	0	17	2	2	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門選択科目	地域と観光	1通	2			2		0				
	経営学実地研究(繰り返し履修可)	1前・後	2			2	1	1				兼4
	財務会計Ⅰ	2前	2								1	
	財務会計Ⅱ	2後	2								1	
	ビジネス法Ⅰ	2前	2								1	
	ビジネス法Ⅱ	2後	2								1	
	海外英語実習	2通	2						1		1	
	販売と経営Ⅰ	2前	2								1	
	販売と経営Ⅱ	2後	2								1	
	原価計算論Ⅰ	2前	2								1	
	原価計算論Ⅱ	2後	2								1	
	経営トップセミナー	2後	2			1		1			3	
	マーケティングⅠ	3前	2								1	
	マーケティングⅡ	3後	2								1	
	経営戦略論Ⅰ	3前	2								1	
	経営戦略論Ⅱ	3後	2								1	
	財務管理論Ⅰ	3前	2				1				0	
	財務管理論Ⅱ	3後	2				1				0	
	国際経済論	3前	2			1						
	日本経済論	3後	2								1	
経営分析論Ⅰ	3前	2								1		
経営分析論Ⅱ	3後	2								1		
アジアビジネス論Ⅰ	3前	2			1							
アジアビジネス論Ⅱ	3後	2			1							
販売と経営Ⅲ	3前	2								1		
販売と経営Ⅳ	3後	2								1		
インターンシップ	3前・後	2			0		0			2		
英文会計(未開講)	3後	2								1		
地場産業論Ⅰ	3前	2			1							
地場産業論Ⅱ	3後	2			1							
合計(専門選択科目)	—	0	60	0	12	1	3	0	0	0	24	
コース専門基本科目	地域とビジネスⅠ	2前	2			1						
	地域とビジネスⅡ	2後	2			1						
	まちづくり論	2前	2			1						
	まちづくり実習Ⅰ	2前	2			1						
	レジャー&アウトドア実習Ⅰ	2前・後	2								3	
	小計(レジャー・まちづくりコース科目)	—	0	10	0	4	0	0	0	0	0	3
	農業と観光	2前	2			1						
	フードビジネス論	2後	2				1					
	アグリ・フード実習Ⅰ	2前	2			1	1					
	農業ビジネス論Ⅰ	2前	2			1						
	農業ビジネス論Ⅱ	2前・後	2			1						
	小計(アグリ・フードビジネスコース科目)	—	0	10	0	4	2	0	0	0	0	0
	異文化コミュニケーション	2後	2									1
	通訳ガイド入門	2前	2					1				
	通訳ガイド演習Ⅰ	2後	2					1				
	旅行ビジネス論	2前	2			1						
	旅行業法	2前	2			1						
観光産業実習Ⅰ	2前	2			1							
旅行実務演習	2前	2			1							
小計(英語・ツーリズムコース科目)	—	0	14	0	4	0	2	0	0	0	1	
宿泊産業論	2前	2			1							
ホテル経営論	2後	2			1							
旅行ビジネス論	2前	2			1							
セレモニー産業論	2前	2			1							
宿泊関連産業実習Ⅰ	2前	2			1							
小計(ホテル・ホスピタリティコース科目)	—	0	10	0	5	0	0	0	0	0	0	
合計(専門選択科目)	—	0	44	0	17	2	2	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
コース レジャー・まちづくりコース	専門ゼミナールⅠ	3通	4			1	1					
	専門ゼミナールⅡ	4通	4			1	1					
	環境と自然エネルギー	3前		2			1					
	テーマパークとリゾート	3後		2				1				
	地域とイベント	3前		2		1						
	スキー産業論	3後		2							1	
	観光と開発	3前		2		1						
	世界遺産論	3後		2		1						
	まちづくり実習Ⅱ	3前		2		1						
	観光調査法	3前		2		1						
レジャー&アウトドア実習Ⅱ	3前・後		2								3	
小計(レジャー・まちづくりコース科目)	—	8	18	0	7	1	3	0	0	0	4	
コース アグリフードビジネスコース	専門ゼミナールⅠ	3通	4			2	1					
	専門ゼミナールⅡ	4通	4			2	1					
	アグリビジネス起業論	3後		2		1						
	グリーンツーリズム特論	3後		2				1				
	農業政策論	3前		2		1						
	アグリ・フード実習Ⅱ	3前		2		1	1					
	アグリ・フード実習Ⅲ	3後		2		1	1					
	農業経営論	3後		2		1						
	食と文化	3前		2			1					
	商品の開発Ⅰ	3前		2		1						
商品の開発Ⅱ	3後		2		1							
小計(アグリフードビジネスコース科目)	—	8	18	0	11	5	1	0	0	0	0	
コース 英語・ツーリズムコース	専門ゼミナールⅠ	3通	4			2	1	1				
	専門ゼミナールⅡ	4通	4			2	1	1				
	観光地理	3前		2		1						
	パブリックスピーキングⅠ	3前		2			1					
	パブリックスピーキングⅡ	3後		2			1					
	通訳ガイド演習Ⅱ	3前		2		1						
	通訳ガイド演習Ⅲ	3後		2		1						
	通訳ガイド総合演習	3後		2		1						
	ビジネスイングリッシュⅠ	3前		2							1	
	ビジネスイングリッシュⅡ	3後		2							1	
航空ビジネス論	3前		2							1		
交通サービス論	3後		2							1		
観光産業実習Ⅱ	3前		2		1							
小計(英語・ツーリズムコース科目)	—	8	22	0	9	4	2	0	0	0	4	
コース ホテル・ホスピタリティコース	専門ゼミナールⅠ	3通	4			2						
	専門ゼミナールⅡ	4通	4			2						
	宿泊関連産業実習Ⅱ	3前		2		1						
	ホスピタリティ産業の人材管理	3前		2		1						
	民宿・旅館経営論	3後		2		1						
	着物文化と演習	3前		2							1	
	ブライダル論	3前		2							1	
	ブライダル演習	3後		2							1	
	秘書概論	3前		2							1	
	秘書実務	3後		2							1	
サービスと接遇	3前		2		1							
小計(ホテル・ホスピタリティコース科目)	—	8	18	0	8	0	0	0	0	0	5	
合計(専門選択科目)	—	32	76	0	35	10	6	0	0	0	13	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
コース レジャー・まちづくりコース	専門ゼミナールⅠ	3通	4			1	1					
	専門ゼミナールⅡ	4通	4			1	1					
	環境と自然エネルギー	3前		2				1				
	テーマパークとリゾート	3後		2				0		1		
	地域とイベント	3前		2		1						
	スキー産業論	3後		2				1				0
	観光と開発	3前		2		1						
	世界遺産論	3後		2		1						
	まちづくり実習Ⅱ	3前		2		1						
	観光調査法	3前		2		1				1		
レジャー&アウトドア実習Ⅱ	3前・後		2								3	
小計(レジャー・まちづくりコース科目)	—	8	18	0	8	1	4	0	0	0	3	
コース アグリフードビジネスコース	専門ゼミナールⅠ	3通	4			2	1					
	専門ゼミナールⅡ	4通	4			2	1					
	アグリビジネス起業論	3後		2		1						
	グリーンツーリズム特論	3後		2				1				
	農業政策論	3前		2		1						
	アグリ・フード実習Ⅱ	3前		2		1	1					
	アグリ・フード実習Ⅲ	3後		2		1	1					
	農業経営論	3後		2		1						
	食と文化	3前		2					1			
	商品の開発Ⅰ	3前		2		1						
商品の開発Ⅱ	3後		2		1							
小計(アグリフードビジネスコース科目)	—	8	18	0	12	5	1	0	0	0	0	
コース 英語・ツーリズムコース	専門ゼミナールⅠ	3通	4			2	1	1				
	専門ゼミナールⅡ	4通	4			2	1	1				
	観光地理	3前		2		1						
	パブリックスピーキングⅠ	3前		2			1					
	パブリックスピーキングⅡ	3後		2			1					
	通訳ガイド演習Ⅱ	3前		2		1			0			
	通訳ガイド演習Ⅲ	3後		2		1			0			
	通訳ガイド総合演習	3後		2		1			0			
	ビジネスイングリッシュⅠ	3前		2							1	
	ビジネスイングリッシュⅡ	3後		2							1	
航空ビジネス論	3前		2				1				0	
交通サービス論	3後		2								1	
観光産業実習Ⅱ	3前		2		1							
小計(英語・ツーリズムコース科目)	—	8	22	0	10	4	2	0	0	0	3	
コース ホテル・ホスピタリティコース	専門ゼミナールⅠ	3通	4			2						
	専門ゼミナールⅡ	4通	4			2						
	宿泊関連産業実習Ⅱ	3前		2		1						
	ホスピタリティ産業の人材管理	3前		2		0			1			
	民宿・旅館経営論	3後		2		1						
	着物文化と演習	3前		2							1	
	ブライダル論	3前		2							1	
	ブライダル演習	3後		2							1	
	秘書概論	3前		2							1	
	秘書実務	3後		2							1	
サービスと接遇	3前		2		1						0	
小計(ホテル・ホスピタリティコース科目)	—	8	18	0	8	0	1	0	0	0	4	
合計(専門選択科目)	—	32	76	0	38	10	8	0	0	0	10	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	中国語Ⅰ	2前	1								1	
	中国語Ⅱ	2後	1								1	
	中国語会話Ⅰ	3前	1								1	
	中国語会話Ⅱ	3後	1								1	
	ロシア語Ⅰ	2前	1		1							
	ロシア語Ⅱ	2後	1		1							
	ロシア語会話Ⅰ	3前	1		1							
	ロシア語会話Ⅱ	3後	1		1							
	韓国語Ⅰ	2前	1								1	
	韓国語Ⅱ	2後	1								1	
	韓国語会話Ⅰ	3前	1								1	
	韓国語会話Ⅱ	3後	1								1	
	小計(外国語科目)	—	0	12	0	4	0	0	0	0	0	8
	一般教養科目	法学	1前	2								1
		心理学	1前	2								1
		経済学	1後	2								1
		現代社会と福祉	1後	2								1
		日本国憲法	1前	2								1
		教養の自然科学	1前	2								1
地理学		1前	2								1	
外国史		1後	2								1	
教養の文章理解Ⅰ		1前	2								1	
教養の文章理解Ⅱ		1後	2								1	
アウトドアスポーツ		1後	2								3	
スポーツ&レジャー		1前	2								4	
宗教学		1後	2								1	
アジア言語入門(中・露・韓)		1通	2		1						2	
現代社会と情報	1後	2								1		
小計(一般教養科目)	—	4	26	0	1	0	0	0	0	0	21	
合計(教養科目)	—	4	38	0	5	0	0	0	0	0	29	
卒業要件及び履修方法												
<p>専門基礎必修科目24単位(すべて必修科目)、専門基本科目24単位(すべて必修科目)、専門応用科目から必修科目10単位を含め12単位以上、専門選択科目から14単位以上、2年次に4つのコースの中から1つのコースを選択後そのコースにおけるコース専門基本科目から8単位以上、3年次に2年次に選択したコースにおけるコース専門応用科目から必修科目8単位を含め24単位以上、教養科目の外国語科目(1言語で継続して)から4単位、教養科目の一般教養科目から必修科目4単位を含め14単位以上修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の上限:1年次のみ44単位(年間))</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	中国語Ⅰ	2前	1								1	
	中国語Ⅱ	2後	1								1	
	中国語会話Ⅰ	3前	1								1	
	中国語会話Ⅱ	3後	1								1	
	ロシア語Ⅰ	2前	1		1							
	ロシア語Ⅱ	2後	1		1							
	ロシア語会話Ⅰ	3前	1		1							
	ロシア語会話Ⅱ	3後	1		1							
	韓国語Ⅰ	2前	1								1	
	韓国語Ⅱ	2後	1								1	
	韓国語会話Ⅰ	3前	1								1	
	韓国語会話Ⅱ	3後	1								1	
	小計(外国語科目)	—	0	12	0	4	0	0	0	0	0	8
	一般教養科目	法学	1前	2								1
		心理学	1前	2								0
		経済学	1後	2								1
		現代社会と福祉	1後	2								1
		日本国憲法	1前	2								1
		教養の自然科学	1前	2								1
地理学		1前	2			1					0	
外国史		1後	2			1					0	
教養の文章理解Ⅰ		1前	2								1	
教養の文章理解Ⅱ		1後	2								1	
アウトドアスポーツ		1後	2								3	
スポーツ&レジャー		1前	2								4	
宗教学		1後	2								1	
音楽表現Ⅰ(未開講)			2								1	
音楽表現Ⅱ(未開講)		2								1		
現代文化論		2		1						0		
日本文化史		2		1						0		
日本史		2								1		
地誌		2		1						0		
社会学(未開講)		2								1		
現代社会とスポーツ(未開講)		2								1		
アジア言語入門(中・露・韓)	1通	2		1						2		
現代社会と情報	1後	2								1		
小計(一般教養科目)	—	4	42	0	6	0	0	0	0	0	23	
合計(教養科目)	—	4	54	0	10	0	0	0	0	0	31	
卒業要件及び履修方法												
<p>専門基礎必修科目24単位(すべて必修科目)、専門基本科目24単位(すべて必修科目)、専門応用科目から必修科目10単位を含め12単位以上、専門選択科目から14単位以上、2年次に4つのコースの中から1つのコースを選択後そのコースにおけるコース専門基本科目から8単位以上、3年次に2年次に選択したコースにおけるコース専門応用科目から必修科目8単位を含め24単位以上、教養科目の外国語科目(1言語で継続して)から4単位、教養科目の一般教養科目から必修科目4単位を含め14単位以上修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の上限:1年次のみ44単位(年間))</p>												



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助産	助教		
専門選択科目	財務会計Ⅰ	2前	2								1	
	財務会計Ⅱ	2後	2								1	
	ビジネス法Ⅰ	2前	2								1	
	ビジネス法Ⅱ	2後	2								1	
	海外英語実習	2通	2				1				1	
	販売と経営Ⅰ	2前	2								1	
	販売と経営Ⅱ	2後	2								1	
	原価計算論Ⅰ	2前	2								1	
	原価計算論Ⅱ	2後	2								1	
	経営トップセミナー	2後	2		3							
	マーケティングⅠ	3前	2								1	
	マーケティングⅡ	3後	2								1	
	経営戦略論Ⅰ	3前	2								1	
	経営戦略論Ⅱ	3後	2								1	
	財務管理論Ⅰ	3前	2								1	
	財務管理論Ⅱ	3後	2								1	
	国際経済論	3前	2		1							
	日本経済論	3後	2								1	
	経営分析論Ⅰ	3前	2								1	
	経営分析論Ⅱ	3後	2								1	
アジアビジネス論Ⅰ	3前	2		1								
アジアビジネス論Ⅱ	3後	2		1								
販売と経営Ⅲ	3前	2								1		
販売と経営Ⅳ	3後	2								1		
インターンシップ	3前・後	2		3		1						
合計(専門選択科目)	—	0	50	0	9	0	2	0	0	0	20	
コース専門基本科目	地域とビジネスⅠ	2前	2		1							
	地域とビジネスⅡ	2後	2		1							
	まちづくり論	2前	2		1							
	まちづくり実習Ⅰ	2前	2		1							
	レジャー&アウトドア実習Ⅰ	2前・後	2								3	
	小計(レジャー・まちづくりコース科目)	—	0	10	0	4	0	0	0	0	0	3
	農業と観光	2前	2		1							
	フードビジネス論	2後	2		1		1					
	アグリ・フード実習Ⅰ	2前	2		1	1						
	農業ビジネス論Ⅰ	2前	2		1							
	農業ビジネス論Ⅱ	2前・後	2		1							
	小計(アグリフードビジネスコース科目)	—	0	10	0	4	2	0	0	0	0	
	異文化コミュニケーション	2後	2								1	
	通訳ガイド入門	2前	2				1					
通訳ガイド演習Ⅰ	2後	2				1						
旅行ビジネス論	2前	2		1								
旅行業法	2前	2		1								
観光産業実習Ⅰ	2前	2		1								
旅行実務演習	2前	2		1								
小計(英語・ツーリズムコース科目)	—	0	14	0	4	0	2	0	0	0	1	
宿泊産業論	2前	2		1								
ホテル経営論	2後	2		1								
旅行ビジネス論	2前	2		1								
セレモニー産業論	2前	2		1								
宿泊関連産業実習Ⅰ	2前	2		1								
小計(ホテル・ホスピタリティコース科目)	—	0	10	0	5	0	0	0	0	0		
合計(コース専門基本科目)	—	0	44	0	17	2	2	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助産	助教		
専門選択科目	地域と観光	1通	2									
	経営学実地研究(繰り返し履修可)	1前・後	2								兼4	
	財務会計Ⅰ	2前	2								1	
	財務会計Ⅱ	2後	2								1	
	ビジネス法Ⅰ	2前	2								1	
	ビジネス法Ⅱ	2後	2								1	
	海外英語実習	2通	2						1		1	
	販売と経営Ⅰ	2前	2								1	
	販売と経営Ⅱ	2後	2								1	
	原価計算論Ⅰ	2前	2								1	
	原価計算論Ⅱ	2後	2								1	
	経営トップセミナー	2後	2		3							
	マーケティングⅠ	3前	2								1	
	マーケティングⅡ	3後	2								1	
	経営戦略論Ⅰ	3前	2								1	
	経営戦略論Ⅱ	3後	2								1	
	財務管理論Ⅰ	3前	2								1	
	財務管理論Ⅱ	3後	2								1	
	国際経済論	3前	2		1							
	日本経済論	3後	2								1	
経営分析論Ⅰ	3前	2								1		
経営分析論Ⅱ	3後	2								1		
アジアビジネス論Ⅰ	3前	2		1								
アジアビジネス論Ⅱ	3後	2		1								
販売と経営Ⅲ	3前	2								1		
販売と経営Ⅳ	3後	2								1		
インターンシップ	3前・後	2		3		1						
英文会計	3後	2		2						1		
合計(専門選択科目)	—	0	56	0	12	0	3	0	0	0	21	
コース専門基本科目	地域とビジネスⅠ	2前	2		1							
	地域とビジネスⅡ	2後	2		1							
	まちづくり論	2前	2		1							
	まちづくり実習Ⅰ	2前	2		1							
	レジャー&アウトドア実習Ⅰ	2前・後	2								3	
	小計(レジャー・まちづくりコース科目)	—	0	10	0	4	0	0	0	0	0	3
	農業と観光	2前	2		1							
	フードビジネス論	2後	2		1		1					
	アグリ・フード実習Ⅰ	2前	2		1	1						
	農業ビジネス論Ⅰ	2前	2		1							
	農業ビジネス論Ⅱ	2前・後	2		1							
	小計(アグリフードビジネスコース科目)	—	0	10	0	4	2	0	0	0	0	
	異文化コミュニケーション	2後	2								1	
	通訳ガイド入門	2前	2						1			
通訳ガイド演習Ⅰ	2後	2						1				
旅行ビジネス論	2前	2		1								
旅行業法	2前	2		1								
観光産業実習Ⅰ	2前	2		1								
旅行実務演習	2前	2		1								
小計(英語・ツーリズムコース科目)	—	0	14	0	4	0	2	0	0	0	1	
宿泊産業論	2前	2		1								
ホテル経営論	2後	2		1								
旅行ビジネス論	2前	2		1								
セレモニー産業論	2前	2		1								
宿泊関連産業実習Ⅰ	2前	2		1								
小計(ホテル・ホスピタリティコース科目)	—	0	10	0	5	0	0	0	0	0		
合計(コース専門基本科目)	—	0	44	0	17	2	2	0	0	0	4	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					兼任・兼任
			必	選	口	他	専	兼	選	助	他	
教養科目	中国語Ⅰ	2前	1									1
	中国語Ⅱ	2後	1									1
	中国語会話Ⅰ	3前	1									1
	中国語会話Ⅱ	3後	1									1
	ロシア語Ⅰ	2前	1		1							
	ロシア語Ⅱ	2後	1		1							
	ロシア語会話Ⅰ	3前	1		1							
	ロシア語会話Ⅱ	3後	1		1							
	韓国語Ⅰ	2前	1									1
	韓国語Ⅱ	2後	1									1
	韓国語会話Ⅰ	3前	1									1
	韓国語会話Ⅱ	3後	1									1
	小計(外国語科目)	—	0	12	0	4	0	0	0	0	0	8
	一般教養科目	法学	1前	2								
心理学		1前	2									1
経済学		1後	2									1
現代社会と福祉		1後	2									1
日本国憲法		1前	2									1
教養の自然科学		1前	2									1
地理学		1前	2									1
外国史		1後	2									1
教養の文章理解Ⅰ		1前	2									1
教養の文章理解Ⅱ		1後	2									1
アウトドアスポーツ		1後	2									3
スポーツ&レジャー		1前	2									4
宗教学		1後	2									1
アジア言語入門(中・露・韓)		1通	2		1							2
現代社会と情報	1後	2									1	
小計(一般教養科目)	—	4	26	0	1	0	0	0	0	0	21	
合計(教養科目)	—	4	38	0	5	0	0	0	0	0	29	
卒業要件及び履修方法												
専門基礎必修科目24単位(すべて必修科目)、専門基本科目24単位(すべて必修科目)、専門応用科目から必修科目10単位を含め12単位以上、専門選択科目から14単位以上、2年次に4つのコースの中から1つのコースを選択後そのコースにおけるコース専門基本科目から8単位以上、3年次に2年次に選択したコースにおけるコース専門応用科目から必修科目8単位を含め24単位以上、教養科目の外国語科目(1言語で継続して)から4単位、教養科目の一般教養科目から必修科目4単位を含め14単位以上修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の上限:1年次のみ44単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					兼任・兼任
			必	選	口	他	専	兼	選	助	他	
教養科目	中国語Ⅰ	2前	1									1
	中国語Ⅱ	2後	1									1
	中国語会話Ⅰ	3前	1									1
	中国語会話Ⅱ	3後	1									1
	ロシア語Ⅰ	2前	1		1							
	ロシア語Ⅱ	2後	1		1							
	ロシア語会話Ⅰ	3前	1		1							
	ロシア語会話Ⅱ	3後	1		1							
	韓国語Ⅰ	2前	1									1
	韓国語Ⅱ	2後	1									1
	韓国語会話Ⅰ	3前	1									1
	韓国語会話Ⅱ	3後	1									1
	小計(外国語科目)	—	0	12	0	4	0	0	0	0	0	8
	一般教養科目	法学	1前	2								
心理学		1前	2									1
経済学		1後	2									1
現代社会と福祉		1後	2									1
日本国憲法		1前	2									1
教養の自然科学		1前	2									1
地理学		1前	2									1
外国史		1後	2									1
教養の文章理解Ⅰ		1前	2									1
教養の文章理解Ⅱ		1後	2									1
アウトドアスポーツ		1後	2									3
スポーツ&レジャー		1前	2									4
宗教学		1後	2									1
音楽表現Ⅰ		1前	2									1
音楽表現Ⅱ	1後	2									1	
現代文化論	1後	2									1	
日本文化史	1後	2									1	
日本史	1後	2									1	
地誌	1前	2									1	
現代社会とスポーツ	1後	2									1	
アジア言語入門(中・露・韓)	1通	2		1							2	
現代社会と情報	1後	2									1	
小計(一般教養科目)	—	4	40	0	1	0	0	0	0	0	28	
合計(教養科目)	—	4	52	0	5	0	0	0	0	0	36	
卒業要件及び履修方法												
専門基礎必修科目24単位(すべて必修科目)、専門基本科目24単位(すべて必修科目)、専門応用科目から必修科目10単位を含め12単位以上、専門選択科目から14単位以上、2年次に4つのコースの中から1つのコースを選択後そのコースにおけるコース専門基本科目から8単位以上、3年次に2年次に選択したコースにおけるコース専門応用科目から必修科目8単位を含め24単位以上、教養科目の外国語科目(1言語で継続して)から4単位、教養科目の一般教養科目から必修科目4単位を含め14単位以上修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の上限:1年次のみ44単位(年間))												



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門選択科目	地域と観光	1通	2			1		1				兼4	
	経営学実地研究(繰り返し履修可)	1前・後	2			2		1					
	財務会計Ⅰ	2前	2										1
	財務会計Ⅱ	2後	2										1
	ビジネス法Ⅰ	2前	2										1
	ビジネス法Ⅱ	2後	2										1
	海外英語実習	2通	2					1					1
	販売と経営Ⅰ	2前	2										1
	販売と経営Ⅱ	2後	2										1
	原価計算論Ⅰ	2前	2										1
	原価計算論Ⅱ	2後	2										1
	経営トップセミナー	2後	2			1		1					2
	マーケティングⅠ	3前	2										1
	マーケティングⅡ	3後	2										1
	経営戦略論Ⅰ	3前	2										1
	経営戦略論Ⅱ	3後	2										1
	財務管理論Ⅰ	3前	2										1
	財務管理論Ⅱ	3後	2										1
	国際経済論	3前	2			1							
	日本経済論	3後	2										1
	経営分析論Ⅰ	3前	2										1
	経営分析論Ⅱ	3後	2										1
	アジアビジネス論Ⅰ	3前	2			1							
	アジアビジネス論Ⅱ	3後	2			1							
販売と経営Ⅲ	3前	2									1		
販売と経営Ⅳ	3後	2									1		
インターンシップ	3前・後	2			1		0				1		
英文会計	3後	2									1		
地場産業論Ⅰ	3前	2			1								
地場産業論Ⅱ	3後	2			1								
合計(専門選択科目)	—	0	60	0	10	0	4	0	0	0	24		
コース専門基本科目	地域とビジネスⅠ	2前	2			1							
	地域とビジネスⅡ	2後	2			1							
	まちづくり論	2前	2			1							
	まちづくり実習Ⅰ	2前	2			1							
	レジャー&アウトドア実習Ⅰ	2前・後	2									3	
	小計(レジャー・まちづくりコース科目)	—	0	10	0	4	0	0	0	0	0	3	
	農業と観光	2前	2			1							
	フードビジネス論	2後	2				1						
	アグリ・フード実習Ⅰ	2前	2			1	1						
	農業ビジネス論Ⅰ	2前	2			1							
	農業ビジネス論Ⅱ	2前・後	2			1							
	小計(アグリ・フードビジネスコース科目)	—	0	10	0	4	2	0	0	0	0	0	
	異文化コミュニケーション	2後	2									1	
	通訳ガイド入門	2前	2					1					
	通訳ガイド演習Ⅰ	2後	2					1					
	旅行ビジネス論	2前	2			1							
	旅行業法	2前	2			1							
観光産業実習Ⅰ	2前	2			1								
旅行実務演習	2前	2			1								
小計(英語・ツーリズムコース科目)	—	0	14	0	4	0	2	0	0	0	1		
宿泊産業論	2前	2			1								
ホテル経営論	2後	2			1								
旅行ビジネス論	2前	2			1								
セレモニー産業論	2前	2			1								
宿泊関連産業実習Ⅰ	2前	2			1								
小計(ホテル・ホスピタリティコース科目)	—	0	10	0	5	0	0	0	0	0	0		
合計(コース専門基本科目)	—	0	44	0	17	2	2	0	0	0	4		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			前	中	後	専任	非常勤	准	兼任	兼任		
外国語科目	中国語Ⅰ	2前	1								1	
	中国語Ⅱ	2後	1								1	
	中国語会話Ⅰ	3前	1								1	
	中国語会話Ⅱ	3後	1								1	
	ロシア語Ⅰ	2前	1		1							
	ロシア語Ⅱ	2後	1		1							
	ロシア語会話Ⅰ	3前	1		1							
	ロシア語会話Ⅱ	3後	1		1							
	韓国語Ⅰ	2前	1								1	
	韓国語Ⅱ	2後	1								1	
	韓国語会話Ⅰ	3前	1								1	
	韓国語会話Ⅱ	3後	1								1	
	小計(外国語科目)	—	0	12	0	4	0	0	0	0	0	8
	教養科目	法学	1前	2								1
心理学		1前	2								1	
経済学		1後	2								1	
現代社会と福祉		1後	2								1	
日本国憲法		1前	2								1	
教養の自然科学		1前	2								1	
地理学		1前	2								1	
外国史		1後	2								1	
教養の文章理解Ⅰ		1前	2								1	
教養の文章理解Ⅱ		1後	2								1	
アウトドアスポーツ		1後	2								3	
スポーツ&レジャー		1前	2								4	
宗教学		1後	2								1	
音楽表現Ⅰ			2								1	
音楽表現Ⅱ			2								1	
現代文化論			2								1	
日本文化史			2								1	
日本史			2								1	
地誌			2								1	
社会学		2								1		
現代社会とスポーツ		2								1		
アジア言語入門(中・露・韓)	1通	2		1						2		
現代社会と情報	1後	2								1		
小計(一般教養科目)	—	4	42	0	1	0	0	0	0	0	29	
合計(教養科目)	—	4	54	0	5	0	0	0	0	0	37	

卒業要件及び履修方法

専門基礎必修科目24単位(すべて必修科目)、専門基本科目24単位(すべて必修科目)、専門応用科目から必修科目10単位を含め12単位以上、専門選択科目から14単位以上、2年次に4つのコースの中から1つのコースを選択後そのコースにおけるコース専門基本科目から8単位以上、3年次に2年次に選択したコースにおけるコース専門応用科目から必修科目8単位を含め24単位以上、教養科目の外国語科目(1言語で継続して)から4単位、教養科目の一般教養科目から必修科目4単位を含め14単位以上修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の上限:1年次のみ44単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【平成28年度】**

特になし。

**【平成29年度】**

- ・クラスの減の理由により、「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」の兼任・兼任の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・クラスの減の理由により、「オーラルイングリッシュⅢ」、「オーラルイングリッシュⅣ」の兼任・兼任の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により「地域と観光」、「経営学実地研究」、「英文会計」、「音楽表現Ⅰ」、「音楽表現Ⅱ」、「現代文化論」、「日本文化史」、「地誌」、「現代社会とスポーツ」を新規追加。

**【平成30年度】**

- ・受講人数の関係によるクラス減の理由により「基礎ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授3」、「准教授2」から「准教授0」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・受講人数減の理由により「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「講師2」から「講師0」に変更。
- ・受講人数の関係によるクラス減の理由により「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授4」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・受講人数の関係によるクラス減の理由により「コンピュータリテラシー応用Ⅰ」、「コンピュータリテラシー応用Ⅱ」の専任教員等の配置「教授1」から「教授0」にそれぞれ変更。
- ・受講人数の関係によるクラス減の理由により「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」の兼任・兼任の配置を「兼2」から「兼1」にそれぞれ変更。
- ・受講人数の関係によるクラス減の理由により「リーディングⅡ」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」にそれぞれ変更。
- ・受講人数減の理由により「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・就任予定者辞任の理由により「観光経営Ⅲ」の専任教員等の配置に「教授1」、「講師1」を配置。
- ・受講人数の関係によるクラス減の理由により「オーラルイングリッシュⅢ」「オーラルイングリッシュⅣ」の兼任・兼任の配置を「兼2」から「兼1」にそれぞれ変更。
- ・教育内容充実の理由により「地域と観光」の専任教員等配置に「講師1」を新規追加配置。
- ・定年退職者の関係による担当科目の見直しの理由により「販売と経営Ⅰ」、「販売と経営Ⅱ」、「原価計算論Ⅰ」、「原価計算論Ⅱ」、「財務管理論Ⅰ」、「財務管理論Ⅱ」「経営分析論Ⅰ」、「経営分析論Ⅱ」の担当者それぞれ変更。
- ・受講人数減の理由により「経営トップセミナー」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により「テーマパークとリゾート」の専任教員等配置に「教授1」を新規追加配置。
- ・定年退職の関係による科目担当者補充のため「スキー産業論」の専任教員等配置に「教授1」を新規追加配置。
- ・病気休業者の対応により、「観光英語Ⅴ」の専任教員等の配置に「講師1」を追加した。
- ・死亡退職者の対応により、「通訳ガイド演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更及び、配当年次を「3前」から「3後」に変更した。
- ・死亡退職者の対応により、「通訳ガイド演習Ⅲ」「通訳ガイド総合演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更した。
- ・「キャリアデザインⅠ」受講人数減による担当者の見直しにより、「教授3」「講師2」を「兼2」に変更した。
- ・「キャリアデザインⅡ」受講人数減による担当者の見直しにより「教授4」「准教授1」を「教授1」「兼2」に変更した。
- ・「経営トップセミナー」受講人数減による担当者の見直しにより、「教授3」を「教授1」「講師1」「兼2」に変更した。
- ・「インターンシップ」受講人数減による担当者の見直しにより「教授3」「講師1」を「教授1」「兼1」に変更した。

**【令和元年度】**

- ・「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」受講人数の関係によるクラス減の理由により、の兼任・兼任の配置を「兼2」から「兼1」に変更した。
- ・「リーディングⅡ」レベル別クラス対応の理由により、専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・「オーラルイングリッシュⅢ」「オーラルイングリッシュⅣ」専任教員の配置変更により、「教授1」を追加した。
- ・「地域と観光」専任教員の配置変更により、「教授1」「講師1」から「教授2」に変更した。
- ・「経営学実地研究」教育内容の充実により、「准教授1」を追加した。
- ・「財務管理論Ⅰ」「財務管理論Ⅱ」専任教員の配置変更により、「兼1」から「教授2」に変更した。
- ・「テーマパークとリゾート」受講人数減の理由により、専任教員等の配置を「教授1」「講師1」に変更した。
- ・「グリーンツーリズム特論」教育内容の充実により、「講師1」から「教授1」を追加した。
- ・「通訳ガイド演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更し、配当年次「3後」を「3前」に変更した。
- ・「航空ビジネス論」定年退職者の担当科目見直しにより「兼1」から「准教授1」に変更した。
- ・「通訳ガイド演習Ⅲ」「通訳ガイド総合演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更した。
- ・「ホスピタリティ産業の人材管理」専任教員の配置変更により、「教授1」から「講師1」に変更した。
- ・「秘書実務」定年退職者の担当科目見直しにより「兼1」から「教授1」に変更した。
- ・「地理学」「外国史」定年退職者の担当科目見直しにより「兼1」から「教授1」に変更した。
- ・「現代文化論」「日本文化史」専任教員の配置変更により、「教授2」から「教授1」に変更した。
- ・「キャリアデザインⅡ」受講人数減による担当者の見直しにより「教授1」「兼2」を「兼2」に変更した。
- ・「経営トップセミナー」教育内容の充実による担当者の見直しにより、「教授1」「講師1」「兼2」を「教授1」「講師1」「兼2」に変更した。
- ・「インターンシップ」担当者の見直しにより「教授1」「兼1」を「兼2」に変更した。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
52 科目	115 科目	0 科目	167 科目	52 科目 [ ]	128 科目 [ 13 ]	0 科目 [ ]	180 科目 [ ]	教育内容充実のため科目の追加 (30)

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	現代文化論	2	1	一般	選択	担当者退職のため未開講 代替措置無(30)
2	音楽表現 I	2	1	一般	選択	音響教室の確保ができず不開講(元)
3	音楽表現 I	2	1	一般	選択	音響教室の確保ができず不開講(元)
4	現代社会とスポーツ	2	1	一般	選択	科目担当者の時間割調整が出来なかった(元)
5	社会学	2	1	一般	選択	科目担当者の時間割調整が出来なかった(元)

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、学内教員も含め後任者を検討する。  
 学生には、年度初めのオリエンテーション・ガイダンス及び時間割表にて周知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{167} = \boxed{2.99\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	11,509㎡	— ㎡	— ㎡	11,509㎡				
	運 動 場 用 地	19,121㎡	— ㎡	— ㎡	19,121㎡				
	小 計	30,630㎡	— ㎡	— ㎡	30,630㎡				
	そ の 他	33,235㎡	— ㎡	— ㎡	33,235㎡				
	合 計	63,865㎡	— ㎡	— ㎡	63,865㎡				
(2) 校 舎	専 用	6,615㎡	2,243㎡	4,487㎡	13,345㎡	新潟中央短期大学と共用			
	( 6,615㎡)	( 2,243㎡)	( 4,487㎡)	( 13,345㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設				
	11室	7室	室	3室 (補助職員 一人)	1室 (補助職員 一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	観光経営学部 観光経営学科			14 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書購入について、 予算内で購入したため 冊数減が生じた。 視聴覚資料はセット ものを各々登録した ため増となった。 (28) 必要図書増加(29) 学術雑誌休刊のため 減(30)	
	観光経営学部	1,800 [300] <b>2,127 [298]</b> ( 1,696 [ 179] ) ( 1,091 [ 113] ) ( 312 [ 61] ) ( 360 [ 60] )	25 [ 5] <b>28 [ 5]</b> ( 26 [ 5] ) ( 26 [ 5] ) ( 25 [ 5] )	— [ — ] ( [ ] )	50 ( 52 ) ( 35 ) ( 24 ) ( 10 )	( )	( )		
	計	1,800 [300] <b>2,127 [298]</b> ( 1,696 [ 179] ) ( 1,091 [ 113] ) ( 312 [ 61] ) ( 360 [ 60] )	25 [ 5] <b>28 [ 5]</b> ( 26 [ 5] ) ( 26 [ 5] ) ( 25 [ 5] )	— [ — ] ( [ ] )	50 ( 52 ) ( 35 ) ( 24 ) ( 10 )	( )	( )		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	776㎡		116席		131,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,927㎡		サ ッ カ ー グ ラ ウ ン ド テ ニ ス コ ー ト 2 面						
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費については概ね計画通り 設備購入費については 見積金額より安価に 購入できたことにより 減額となった。 (28) 必要図書の増加による (29) 備品は前年度購入した ものが計画より安価 となった。 (29) 収入状況悪化による 減額(元)
		教員1人当り研究費等	400千円	200千円 400千円	図書購入費	1,796千円 1,800千円	2,363千円 1,800千円	523千円 1,800千円	
	共同研究費等	250千円	250千円 500千円	設備購入費	13,097千円 26,790千円	509千円 800千円	884千円 3,200千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,240千円	1,040千円	1,040千円	1,040千円	— 千円	— 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、手数料収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		新潟経営大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
経営情報学部										
経営情報学科	4	120	3年次15	510	学士 (経営情報学)	0.82	-	平成6年度	新潟県加茂市希望ヶ丘2909番地2	
スポーツマネジメント学科	4	50	3年次5	210	学士 (スポーツ経営学)	0.78	-	平成17年度	同上	
観光経営学部										
観光経営学科	4	60	-	240	学士 (観光経営学)	0.36	-	平成28年度	新潟県加茂市希望ヶ丘2909番地2	
大学全体	4	230	20	960	-	0.70	-	-	-	
大学の名称		新潟中央短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
幼児教育科	2	100	-	200	短期大学士(幼児教育学)	0.73		昭和56年度	新潟県加茂市希望ヶ丘2909番地2	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
兼任	教授	渡辺 保 (70) ＜平成30年4月＞ スキー産業論	渡辺 保 (69) ＜平成30年4月＞ スキー産業論	渡辺 保 (70) ＜平成30年4月＞ スキー産業論			
兼任	教授	杉浦 善次郎 (57) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ	杉浦 善次郎 (58) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ	杉浦 善次郎 (59) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ	兼任	教授	杉浦 善次郎 (60) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ <b>社会学</b>
兼任	教授	市島 清貴 (56) ＜平成29年4月＞ 海外英語実習 異文化コミュニケーション	市島 清貴 (55) ＜平成29年4月＞ 海外英語実習 異文化コミュニケーション	市島 清貴 (56) ＜平成29年4月＞ 海外英語実習 異文化コミュニケーション	兼任	教授	市島 清貴 (57) ＜平成29年4月＞ 海外英語実習 異文化コミュニケーション
兼任	教授	伊部 泰弘 (46) ＜平成29年4月＞ 販売と経営Ⅰ 販売と経営Ⅱ マーケティングⅡ 経営戦略Ⅱ 経営戦略Ⅲ 販売と経営Ⅲ 販売と経営Ⅳ	伊部 泰弘 (45) ＜平成29年4月＞ 販売と経営Ⅰ 販売と経営Ⅱ マーケティングⅡ 経営戦略Ⅱ 経営戦略Ⅲ 販売と経営Ⅲ 販売と経営Ⅳ	伊部 泰弘 (46) ＜平成29年4月＞ 販売と経営Ⅰ 販売と経営Ⅱ マーケティングⅡ 経営戦略Ⅱ 経営戦略Ⅲ 販売と経営Ⅲ 販売と経営Ⅳ <b>経営学実地研究</b>	兼任	教授	伊部 泰弘 (47) ＜平成29年4月＞ マーケティングⅡ 経営戦略Ⅱ 経営戦略Ⅲ 販売と経営Ⅲ 販売と経営Ⅳ <b>経営学実地研究</b> <b>経営学実地研究</b>
兼任	教授	落合 福司 (65) ＜平成28年4月＞ 法学	落合 福司 (65) ＜平成28年4月＞ 法学	落合 福司 (66) ＜平成28年4月＞ 法学	兼任	講師	塚田 博康 (40) ＜平成30年4月＞ 販売と経営Ⅰ 販売と経営Ⅱ
兼任	教授	片上 洋 (66) マーケティングの基礎 マーケティングⅠ 秘書概論	片上 洋 (65) マーケティングの基礎 マーケティングⅠ 秘書概論	片上 洋 (66) マーケティングの基礎 マーケティングⅠ 秘書概論 <b>経営学実地研究</b>	兼任	教授	落合 福司 (67) ＜平成28年4月＞ 法学
兼任	教授	杉山 学 (47) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー	杉山 学 (48) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー	杉山 学 (49) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー	兼任	教授	片上 洋 (68) マーケティングの基礎 マーケティングⅠ <b>経営学実地研究</b>
兼任	教授	中島 純 (53) ＜平成28年4月＞ 現代社会と福祉	中島 純 (54) ＜平成28年4月＞ 現代社会と福祉	中島 純 (55) ＜平成28年4月＞ 現代社会と福祉 <b>経営学実地研究</b>	兼任	教授	杉山 学 (50) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー
兼任	教授	吉田 一郎 (54) ＜平成28年4月＞ 経済学 日本経済論	吉田 一郎 (54) ＜平成28年4月＞ 経済学 日本経済論	吉田 一郎 (55) ＜平成28年4月＞ 経済学 日本経済論	兼任	教授	中島 純 (56) ＜平成28年4月＞ 現代社会と福祉 <b>経営学実地研究</b>
兼任	教授	和田 造 (70) 財務管理論Ⅰ 財務管理論Ⅱ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ	和田 造 (69) 財務管理論Ⅰ 財務管理論Ⅱ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ	和田 造 (70) 財務管理論Ⅰ 財務管理論Ⅱ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ	兼任	教授	吉田 一郎 (57) ＜平成28年4月＞ 経済学 日本経済論
兼任	准教授	大澤 弘幸 (45) ＜平成29年4月＞ 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ	大澤 弘幸 (44) ＜平成29年4月＞ 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ	大澤 弘幸 (45) ＜平成29年4月＞ 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ	兼任	助教	鈴木 翔 (35) ＜平成30年4月＞ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ 英文会計(未開講) 簿記実習Ⅰ 簿記実習Ⅱ キャリアデザインⅡ
兼任	准教授	齋藤 良宏 (39) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ	齋藤 良宏 (39) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ	齋藤 良宏 (39) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ	兼任	助教	大澤 弘幸 (46) ＜平成29年4月＞ 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ <b>簿記実習Ⅰ</b> <b>簿記実習Ⅱ</b>
兼任	准教授	田中 淳 (43) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ			兼任	助教	鈴木 翔 (36) ＜平成30年4月＞ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ 英文会計(未開講) 簿記実習Ⅰ 簿記実習Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅠ
兼任	准教授	安田 翼 (37) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ	安田 翼 (38) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ <b>現代社会とスポーツ</b>	安田 翼 (38) ＜平成28年4月＞ スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ <b>現代社会とスポーツ</b>	兼任	助教	大澤 弘幸 (46) ＜平成29年4月＞ 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ <b>簿記実習Ⅰ</b> <b>簿記実習Ⅱ</b>
兼任	准教授	西澤 一光 (57) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	西澤 一光 (57) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	西澤 一光 (58) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	兼任	助教	鈴木 翔 (35) ＜平成30年4月＞ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ 英文会計(未開講) 簿記実習Ⅰ 簿記実習Ⅱ キャリアデザインⅡ
兼任	准教授	西澤 一光 (57) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	西澤 一光 (57) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	西澤 一光 (58) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	兼任	助教	鈴木 翔 (36) ＜平成30年4月＞ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ 英文会計(未開講) 簿記実習Ⅰ 簿記実習Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅠ
兼任	准教授	西澤 一光 (57) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	西澤 一光 (57) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	西澤 一光 (58) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	兼任	助教	鈴木 翔 (35) ＜平成30年4月＞ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ 英文会計(未開講) 簿記実習Ⅰ 簿記実習Ⅱ キャリアデザインⅡ
兼任	准教授	西澤 一光 (57) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	西澤 一光 (57) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	西澤 一光 (58) 教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ	兼任	助教	鈴木 翔 (36) ＜平成30年4月＞ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ 英文会計(未開講) 簿記実習Ⅰ 簿記実習Ⅱ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	准教授	横山 泰 (36) <平成28年4月>	教養の自然科学 現代社会と情報	兼任	准教授	横山 泰 (36) <平成28年4月>	教養の自然科学 現代社会と情報	兼任	准教授	横山 泰 (38) <平成28年4月>	教養の自然科学 現代社会と情報	兼任	准教授	横山 泰 (39) <平成28年4月>	教養の自然科学 現代社会と情報
兼任	助教	林 孝宗 (33)	日本国憲法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ												
				兼任	准教授	藤田 正樹 (37)	日本国憲法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ	兼任	准教授	藤田 正樹 (38)	日本国憲法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ	兼任	准教授	藤田 正樹 (39)	日本国憲法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ
				兼任	講師	東川 輝久 (38) <平成29年4月>	経営学実地研究	兼任	講師	東川 輝久 (39) <平成29年4月>	経営学実地研究	兼任	講師	東川 輝久 (40) <平成29年4月>	経営学実地研究
								兼任	准教授	齊藤 光俊 (47) <平成30年4月>	キャリアデザインⅠ	兼任	准教授	齊藤 光俊 (48) <平成30年4月>	キャリアデザインⅠ
								兼任	准教授	松浦 れい子 (57) <平成30年4月>	キャリアデザインⅠ	兼任	准教授	松浦 れい子 (58) <平成30年4月>	キャリアデザインⅠ
								兼任	准教授	斎藤 克也 (52) <平成30年4月>	経営トップセミナー インターンシップ	兼任	准教授	斎藤 克也 (53) <平成30年4月>	経営トップセミナー インターンシップ
								兼任	講師	後藤 泰剛 (41) <平成30年4月>	経営トップセミナー	兼任	講師	後藤 泰剛 (42) <平成30年4月>	経営トップセミナー
												兼任	教授	梅田 純子 (60) <平成31年4月>	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※ 異文化コミュニケーション
兼任	講師	梅田 純子 (57) <平成28年4月>	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※	兼任	講師	梅田 純子 (57) <平成28年4月>	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※	兼任	講師	梅田 純子 (58) <平成28年4月>	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※	兼任	講師	梅田 純子 (59) <平成28年4月>	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※
												兼任	講師	白 雷晴 (48) <平成30年4月>	中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中国語特論
兼任	講師	石田 レイ子 (69) <平成28年4月>	外国史	兼任	講師	石田 レイ子 (69) <平成28年4月>	外国史	兼任	講師	大宮 肇 (67)	外国史 日本史				
兼任	講師	ヴァンカンベン・ティモシー (46) <平成29年4月>	英会話Ⅲ 英会話Ⅳ リーディングⅡ オーラルイングリッシュⅢ オーラルイングリッシュⅣ	兼任	講師	ヴァンカンベン・ティモシー (46) <平成29年4月>	英会話Ⅲ 英会話Ⅳ リーディングⅡ オーラルイングリッシュⅢ オーラルイングリッシュⅣ								
兼任	講師	木伏 あずさ (57) <平成28年4月>	英語Ⅰ 英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ	兼任	講師	木伏 あずさ (57) <平成28年4月>	英語Ⅰ 英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ	兼任	講師	木伏 あずさ (58) <平成28年4月>	英語Ⅰ 英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ	兼任	講師	木伏 あずさ (59) <平成28年4月>	英語Ⅰ 英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ
兼任	講師	金 紅花 (36) <平成29年4月>	原簿計算論Ⅰ 原簿計算論Ⅱ	兼任	講師	金 紅花 (35) <平成29年4月>	原簿計算論Ⅰ 原簿計算論Ⅱ	兼任	講師	金 紅花 (36) <平成29年4月>	原簿計算論Ⅰ 原簿計算論Ⅱ	兼任	講師	金 紅花 (37) <平成29年4月>	財務会計論Ⅰ 財務会計論Ⅱ
兼任	講師	小林 美奈子 (54) <平成28年4月>	観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ 観光英語Ⅴ 観光英語Ⅵ リーディングⅠ ライティングⅠ	兼任	講師	小林 美奈子 (54) <平成28年4月>	観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ 観光英語Ⅴ 観光英語Ⅵ リーディングⅠ ライティングⅠ	兼任	講師	小林 美奈子 (55) <平成28年4月>	観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ 観光英語Ⅴ 観光英語Ⅵ リーディングⅠ ライティングⅠ	兼任	講師	小林 美奈子 (56) <平成28年4月>	観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ 観光英語Ⅴ 観光英語Ⅵ リーディングⅠ ライティングⅠ
兼任	講師	小林 美奈子 (57) <平成28年4月>	観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ 観光英語Ⅴ 観光英語Ⅵ	兼任	講師	小林 美奈子 (57) <平成28年4月>	観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ 観光英語Ⅴ 観光英語Ⅵ					兼任	講師	小林 美奈子 (57) <平成28年4月>	観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ 観光英語Ⅴ 観光英語Ⅵ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 宏之 (42) <平成28年4月>	佐々木 宏之 (42) <平成28年4月>	佐々木 宏之 (43) <平成28年4月>	佐々木 宏之 (44) <平成28年4月>		
		心理学	心理学	心理学	心理学		
兼任	講師	澤口 晋一 (57)	澤口 晋一 (57)	澤口 晋一 (58)	澤口 晋一 (59)		
		地理学	地理学	地理学 地誌	地理学 地誌		
兼任	講師	菅原 恵子 (69)	菅原 恵子 (67)	菅原 恵子 (68)	菅原 恵子 (69)		
		秘書実務	秘書実務	秘書実務	秘書実務		
兼任	講師	寺崎 敬道 (57) <平成28年4月>	寺崎 敬道 (57) <平成28年4月>	寺崎 敬道 (58) <平成28年4月>	寺崎 敬道 (59) <平成28年4月>		
		宗教学	宗教学	宗教学	宗教学		
兼任	講師	トゥミー・グレゴリー (49) <平成28年4月>	トゥミー・グレゴリー (49) <平成28年4月>	トゥミー・グレゴリー (50) <平成28年4月>	トゥミー・グレゴリー (51) <平成28年4月>		
		英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV 英会話 V 英会話 VI オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II	英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV 英会話 V 英会話 VI オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II	英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV 英会話 V 英会話 VI オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II	英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV 英会話 V 英会話 VI オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II		
兼任	講師	マズロフ・イゴリー (68) <平成31年4月>	マズロフ・イゴリー (66) <平成31年4月>	マズロフ・イゴリー (67) <平成31年4月>	マズロフ・イゴリー (68) <平成31年4月>		
		ロシア語特論	ロシア語特論	ロシア語特論	ロシア語特論		
兼任	講師	ティモシー・フィニー (51) <平成28年4月>	ティモシー・フィニー (51) <平成28年4月>	ティモシー・フィニー (52) <平成28年4月>	ティモシー・フィニー (53) <平成28年4月>		
		英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV 英会話 V 英会話 VI オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II オーラルイングリッシュ III オーラルイングリッシュ IV ライティング I ライティング II ビジネスイングリッシュ I ビジネスイングリッシュ II	英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV 英会話 V 英会話 VI オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II オーラルイングリッシュ III オーラルイングリッシュ IV ライティング I ライティング II ビジネスイングリッシュ I ビジネスイングリッシュ II	英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV 英会話 V 英会話 VI オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II オーラルイングリッシュ III オーラルイングリッシュ IV ライティング I ライティング II ビジネスイングリッシュ I ビジネスイングリッシュ II	英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV 英会話 V 英会話 VI オーラルイングリッシュ I オーラルイングリッシュ II オーラルイングリッシュ III オーラルイングリッシュ IV ライティング I ライティング II ビジネスイングリッシュ I ビジネスイングリッシュ II		
兼任	講師	菊野 麻子 (46)	菊野 麻子 (47)	菊野 麻子 (47)	菊野 麻子 (48)		
		ビジネスマナーとホスピタリティ	ビジネスマナーとホスピタリティ	ビジネスマナーとホスピタリティ	ビジネスマナーとホスピタリティ		
兼任	講師	坂井 加奈子 (42)	坂井 加奈子 (42)	坂井 加奈子 (42)	坂井 加奈子 (42)		
		航空ビジネス論 交通サービス論	航空ビジネス論 交通サービス論	航空ビジネス論 交通サービス論	航空ビジネス論 交通サービス論		
兼任	講師	秋山 美和子 (47)	秋山 美和子 (45)	秋山 美和子 (46)	秋山 美和子 (47)		
		着物文化と演習	着物文化と演習	着物文化と演習	着物文化と演習		
兼任	講師	間瀬 博文 (30) <平成30年4月>	間瀬 博文 (28) <平成30年4月>	間瀬 博文 (29) <平成30年4月>	間瀬 博文 (30) <平成30年4月>		
		プライダル論 プライダル演習	プライダル論 プライダル演習	プライダル論 プライダル演習	プライダル論 プライダル演習		
兼任	講師	朱 貞淑 (39) <平成28年4月>	朱 貞淑 (39) <平成28年4月>	朱 貞淑 (40) <平成28年4月>	朱 貞淑 (41) <平成28年4月>		
		韓国語 I 韓国語 II 韓国語会話 I 韓国語会話 II 韓国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※	韓国語 I 韓国語 II 韓国語会話 I 韓国語会話 II 韓国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※	韓国語 I 韓国語 II 韓国語会話 I 韓国語会話 II 韓国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※	韓国語 I 韓国語 II 韓国語会話 I 韓国語会話 II 韓国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※		
兼任	講師	菅野 竜夫 (48)	菅野 竜夫 (48)	菅野 竜夫 (48)	菅野 竜夫 (49)		
		音楽表現 I 音楽表現 II	音楽表現 I 音楽表現 II	音楽表現 I 音楽表現 II	音楽表現 I 音楽表現 II		
兼任	講師	未定	未定	未定	未定		
		現代文化論	現代文化論	現代文化論	現代文化論		
兼任	講師	萩 美津夫 (68)	萩 美津夫 (68)	萩 美津夫 (68)	萩 美津夫 (69)		
		日本文化史	日本文化史	日本文化史	日本文化史		
兼任	講師	井口 允 (35) <平成31年4月>					
		ビジネス法 I ビジネス法 II					
兼任	講師	キレット アリスター ランス (52) <平成31年4月>					
		リーディング I ライティング I ライティング II 英会話 VI					

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。  
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・田中准教授他大学異動により、安田講師に変更。
- ・林助教他大学異動により、藤田准教授に変更。

【平成29年度】

- ・齋藤准教授退職により、森助教が9月から就任。
- ・教育内容充実の理由による科目追加のため、東川講師、齋藤講師、荻講師が4月から就任。
- ・石田講師定年退職により、大宮講師が4月から就任。

【平成30年度】

- ・高橋教授就任辞退により、渡貫教授が4月から就任。
- ・科目担当変更の理由により、塚辺講師が4月から就任。
- ・科目担当変更の理由により、鈴木助教が4月から就任。
- ・科目担当変更の理由により、白講師が4月から就任。
- ・坂井講師就任辞退により、阪口講師、森野講師が4月から就任
- ・間瀬講師就任辞退により、石月講師が4月から就任。
- ・**科目担当変更により、齋藤准教授、松浦准教授、塗茂准教授、後藤講師が4月から就任**

【令和元年度】

- ・野澤教授退職により、川崎教授が4月から就任。
- ・小畑教授退職により、大内教授が4月から就任。
- ・藤田准教授退職により、石川(旧姓：滝沢)准教授が4月から就任。
- ・科目担当変更の理由により、井口講師、ギレット講師が4月から就任。
- ・梅田講師が経営情報学部専任教員で採用されたことにより、兼任から兼任へ

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	2	3	0	14	9	2	3	0	14
(2)	(1)	(3)	(0)	(6)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
9	2	3	0	14	9	2	3	0	14
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	高橋 修一郎		選択	観光調査法	①	一身上の都合のため就任辞退（29）			
				選択	ホスピタリティ産業の人材管理	①				
				必修	観光経営Ⅲ	①				
				選択	民宿・旅館経営論	①				
				必修	キャリアデザインⅠ	①				
				必修	キャリアデザインⅡ	①				
				必修	基礎ゼミナールⅠ	①				
				必修	基礎ゼミナールⅡ	①				
				必修	専門ゼミナールⅠ	①				
				必修	専門ゼミナールⅡ	①				
			合計（D）		後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	科目	
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	小畑 正博	H31.3	選択	旅行ビジネス論	①	H31.3.31付け他大学からの割愛により退職(元)
				選択	旅行業法	①	
				選択	旅行実務演習	①	
				選択	観光産業実習Ⅰ	①	
				選択	観光産業実習Ⅱ	①	
				選択	観光地理	①	
				選択	サービスと接遇	①	
				必修	専門ゼミナールⅠ	①	
				必修	専門ゼミナールⅡ	①	
2	教授	野澤 義明	H30.7	選択	通訳ガイド演習Ⅱ	①	H30.7.16付け死亡退職(元)
				選択	通訳ガイド演習Ⅲ	①	
				必修	観光英語Ⅴ	①	
				必修	観光英語Ⅵ	①	
				選択	英語特論Ⅰ	①	
				選択	英語特論Ⅱ	①	
				必修	専門ゼミナールⅠ	①	
				必修	専門ゼミナールⅡ	①	
				選択	通訳ガイド総合演習	①	
				選択	インターンシップ	①	

合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	13 科目	選択	13 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	19 科目	計	19 科目	計	0 科目	計	0 科目		

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
3	人	必修	14 科目	必修	14 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	16 科目	選択	16 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	30 科目	計	30 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{14} = \boxed{21.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
〇〇	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li><li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li><li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li></ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

早期に教員の公募を行い、後任を決定する。学生への周知についてはオリエンテーション、ガイダンス時に周知を行う。(29) 早期に学内教員での科目担当の検討および教員の公募を行い、後任者を決定した。また、学生への周知は年度初めのオリエンテーション、ガイダンス時に行った。(元)
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (27年6月)	該当なし	該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	観光経営学部観光経営 学科の定員充足率の平 均が0.7倍未満となっ ていることから、学生 確保に努めるととも に、入学定員の見直し について検討するこ と。	改善意見  入学定員確保に向け、募集 活動及び広報活動を強化し ている。高大連携講座や資 格取得、少人数教育におけ るきめ細やかな指導など、 魅力や将来性を高校生及び 高校へアピールし、入学定 員の確保に努める。	履行中  高大連携講座や資格取得、 少人数教育におけるきめ細 やかな指導など、魅力や将 来性をアピールするため高 校訪問、進学説明会へ積極 的に参加を行った。入学定 員について検討を始める。
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	観光経営学部観光経営 学科の定員充足率の平 均が0.7倍未満となっ ていることから、学生 確保に努めるととも に、入学定員の見直し について検討するこ と。	改善意見  入学定員確保に向け、募集 活動及び広報活動のアク ションプランを実施する。 高大連携講座や資格取得、 少人数教育におけるきめ細 やかな指導など、魅力や将 来性を高校生及び高校へア ピールし、入学定員の確保 に努める。	履行中  広報、募集活動についての アクションプランを策定 し、定員確保に努めると共 に地域との連携、特色ある 教育プログラムを強く打ち 出す。今後の入学定員及び 学部をどうして行くのかを 含め検討を進める。
設置計画履行状況 調 査 時 (31年3月)	平均入学定員充足率が 0.29倍と著しく低い。 学生確保に努めるとも に、長期的な学生確 保の見通しを客観的根 拠に基づき分析し、入 学定員について見直し も検討しつつ、収容定 員の充足に努めるこ と。	指摘事項 (是正)  入学定員確保に向けて、広 報活動の強化のほか、別紙 (根拠資料)で示すとおり、 ① 学長のリーダー・シップ のもとで推進する「産学官 金連携」の推進 ② 課題解決型実践授業「経 営学実地研究」の定着 ③ 「高大連携」と「アク ティブ・ラーニング」の積 極的取組 の事業を通して、近隣高校 など地域との連携強化を行 い、魅力ある大学をアピー ルするとともに、これらの 事業は2年連続して県の大学 魅力向上支援事業に採択さ れたことによる知名度向 上、さらに大学における現 状と課題について分析を行 い、募集改善という問題の 解消を実行と分析の両面か ら取り組んでいます。	履行中  分析に基づく広報活動につ いてのアクションプランを 策定し、定員確保に努め ると共に地域との連携、特 色ある教育プログラムを強 く打ち出す。入学定員の 見直し及び学部再編も含 め検討を進める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

＜観光経営学部 観光経営学科＞

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

・教務委員会において教育に係る全学的な視野でのFDの運営及び推進を図っている。SD活動については、総務・会計課を中心に計画を立てて実施している。

添付資料：新潟経営大学教務委員会規程

・観光経営学部レベルでは学生及び授業等についての意見交換会を毎週開催している。学部専任教員は全員参加している。

・毎月開催される観光経営学部会議では、授業運営及び学生指導の充実、高大連携・地域連携や貢献事業について審議し、実施している。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・月1回の定例開催の他、臨時案件での開催をしている。教員8名、職員2名で組織されている。

##### c 委員会の審議事項等

- ・教育に関する全般的事項
- ・授業評価アンケートの実施
- ・FD、SDの実施計画

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

###### ・合同FD・SDの開催

「特別な支援を必要とする学生の理解とその支援～『障害者差別解消法と合理的配慮について』、『本学における特別な配慮を必要とする学生の現状』、『教職員に求められるケアとサポート』～」の内容で実施。

###### ・FDの開催

「いま求められるカリキュラムアセスメントの取り組み～『成績評価基準の共有』、『授業アンケートの活用から』～」の内容で実施。

##### b 実施方法

###### ・合同FD・SDの開催

教員、職員及びカウンセラーがテーマごとの説明を行い、本学の現場で起こっている問題点や改善点を共有した。

###### ・FDの開催

外部講師を招き実施した。

c 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

特別な支援を必要とする学生の理解が深まり、個々の指導や対応に役立てることができた。  
成績評価基準や評価方法の再確認を行い、教育の質向上が図られ、授業アンケートの活用方法を学び、より良い授業への展開に寄与された。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全科目（一部対象外科目あり）を対象に年2回（前期・後期）で実施。  
平成30年度は前期7月17日から25日、後期1月21日から2月1日に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生がWEBポータル上にある「授業評価アンケート」にアクセスし、回答している。  
アンケートは科目別に自動集計され、集計結果は科目担当教員がWEBポータル上で確認することとしている。また、教務委員会においても集計結果の確認を行っている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

周知のとおり、観光は国家の重要な成長戦略の柱に据えられている。新潟県においても、平29年に「新潟県観光立県推進条例」が改訂され、国内外からの交流人口を拡大し、地域経済の活性化の呼び水として観光産業が県内経済を牽引する産業として大きな力を発揮するものとしてとらえられている。同時に、地域における観光地づくりを通して、誇りと愛着の持てる活力の満ちた地域社会が実現されるものと期待されている。このように、観光立県を標榜する新潟県において、地域活性化のリーダーズを育成できる高等教育機関が求められている。ところが、県内に観光系の学部・学科を擁する大学は皆無である。

こうした背景から、母体である新潟経営大学の面目躍如たる経営学を基礎として、新たに観光学を融合して観光産業および地域産業の発展に貢献し得る人材の育成を目的に「観光経営学部観光経営学科」の設立に至った。教育体制については、学部開設から完成年度となる平成31(令和元)年度には、過去3年のうちに着任辞退、転出、逝去によるやむなき事情により当初計画とは僅かな軌道修正が生じたものの、学部を構成する全教員が着任し、学部の設置目的を果たすべく体制が整っている。1年次では導入科目、教養科目のほか観光学・経営学の入門科目および基礎科目を中心に学び、2年次以降のコース専門科目群につながるよう配当科目に工夫を凝らしている。平成30年度から大学の学びの醍醐味である「専門ゼミナール」が3年次に配当されている。さらに、学生が興味関心を持つ専門分野を探求するために、各自がゼミ研究室に所属して専門性を高めるべく日々の研鑽に勤しんでいる。

学部開設初年度は、県内の観光名所を巡り学生自らの気づきを目的とするフィールドワークとして「県内観光バスツアー」を実施した。同フィールドワークより得た調査研究と思考の成果を、「高大連携にいがた観光講座」「インターンシップ・フォーラム」にて発表した。同講座は、学生自らが企画し運営するイベントとして配当科目と連繋する課外指導である。活動の中で求められるリーダー・シップ、交渉力、広報宣伝活動などをおして経験する幾多の試練は、問題解決を自らが体験するアクティブラーニングとなっている。

また、本学部の実務家出身教員と特別客員教授がオムニバス形式で講義する「地域と観光」の開講も地域づくりの先達や地域のリーダーから学ぶ重要な講義を拝聴する場になっている。加えて、JR東日本の要請で大学が立地するか加茂商工会議所と共同で実施する「加茂山ハイキング」、新潟県とJR西日本が主催し関西の学生を新潟県内各地（上越、佐渡、越後妻有）に分かれて「おもてなし」をする「新潟カレッジ」、新潟市がベトナムでキャンペーン活動を実施する「ジャパン・ベトナムフェスティバル」への参加など、国内外を問わず繰り広げられる体験授業は特色ある学びである。

学部開設の翌年に2年次生を対象に外部機関との連携により実現する「実習」も本学部ならではのユニークな科目である。本科目は、いわゆるインターンシップとは一線を画し、座学で理論とマナーを徹底的に学んだ後に受入企業等にて実践実務現場で指導を受ける「就労体験型インターンシップ」である。平成29年度は、「近畿日本ツーリスト」、三条市「保内道の駅」、JR南蒲の直売店「ただいまーと」、精麦をコアコンピタンスとして県内に多角化事業を展開する「阿部精麦」にて受け入れを頂戴した。

さらに、地域や企業との連携授業だけでなく、本格的な海外留学も本学本学部が自負する学びの支援制度である。平成28年12月に「オックスフォード大学（ハートフォードカレッジ・英国）」と協定校契約を締結し、翌年に世界屈指の名門校へ学部生1名の派遣が実現した。続けて、短期留学として「チチェスターカレッジ（英国）」にも2名を派遣した。このほか、情報教育への配慮も怠らず、パソコンの習熟度を客観的に証明する外部試験「MOS（マイクロソフト認定資格）」ないしは「日商PC検定2級・3級」に学部生全員が合格を果たした。

学部開設3年目には、学長のリーダー・シップのもとで金融機関との包括連携協定が推進され、協定金融機関の顧客に内在する課題を本学の学生と教員が発見し解決に導くPBL型インターンシップ「経営学実地研究」が本格的に稼働した。このうち「胎内リゾート活性化プロジェクト」は「新潟県・魅力向上支援事業」に採択された。おなじく、「新潟県日露交流推進事業inウラジオストク」にも採択され、学生と教員がウラジオストク（ロシア）に出向き、新潟の魅力発信活動を展開した。当該活動は、先方の領事館が仲立ちになり、「極東連邦大学」と「ウラジオストク国立経済サービス大学」と親交を深め、後者とは協定校契約の締結にいたり、今後より一層の国際交流が推進されるためのはずみ車としての役割が期待される。これら外部との連携活動は、メディアはもとより行政や関与機関の内部広報から波及して広く伝えられており、行政をはじめ連携協定金融機関の顧客から相次ぐ問い合わせがある。令和元度には継続事業として「胎内リゾート活性化プロジェクト」は第2次プロジェクトとして「観光マスタープランの策定」に発展し、このほか「糸魚川観光プラン策定」「出雲崎活性化」という自治体連携事業から、「蒲原鉄道記念事業」「居酒屋チェーンの集客マーケティング」など10授業の開講にいたりしている。さらに、平成30年度に新潟東高校と包括連携協定を締結し、平成30年に公表された「新高等学校指導要領」にて話題となっている「探求授業」の要である「アクティブラーニング」を県内高校に先駆けた同校と連携して実施する取り組みを開始した。同じく新指導要領にて商業高校に新たに配当される「観光とビジネス」のカリキュラム作りで連携したいと地域の高等学校から依頼を受け、観光経営学部の存在意義を高める追い風になっている現状である。

このように、観光をとおして地域社会に貢献できる人材の輩出を旨とする本学本学科の目的は着実に実行されている。

## ② 自己点検・評価報告書

令和元年度に観光経営学部の設置計画の検証を行い、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの期間において、自己点検・評価を実施する予定である。

### a 公表（予定）時期

- ・令和元年9月1日 公表予定

### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページにて公開を行う。

## ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年6月3日）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。